

総合的な学習の時間の実践

倶知安町

総合的な学習
6年

目指せ！国際人

『WELCOME TO KUTCHAN!』

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

倶知安町は、近年、大自然を気に入った外国の人がたくさん住み始めています。町の中でもその人とふれあう機会が多くなりました。そこで、町とかかわりのある外国や人についての調査や交流から、自分たちとは異なる文化にふれていきます。

町と外国とのつながりについて、自分なりの課題を設定したり、「コミュニケーション」の力も付けたりしていく楽しい学習にしていきました。

学習活動の流れ（30時間）

課題をもとう（7）

日本語を話すことが苦手な外国の方との交流や共通の調査活動を通して、意欲を高めました。

- ・ 倶知安には外国語の看板や案内があるね
- ・ 駅前商店街に行って調べよう
- ・ 調べたことを交流しよう
- ・ もっと調べたいことや、やりたいことを交流しよう
- ・ 自分の課題をもとう

調べよう（12）

追究していける課題とは何か話し合いながら、活動を共通化していきました。

- ・ 外国人に倶知安のことを聞こう
- ・ 姉妹都市スイスのサンモリッツについて調べよう
- ・ ガイドマップを作ろう
- ・ グループに分かれて活動しよう

発表しよう（11）

活動の振り返りを位置づけることで、自分や友達の学びを確認しました。

- ・ 倶知安町に住んでいる外国の人を学校に招いて、発表会をしよう

ニセコヒラフ地区を中心に、
年間を通して数多くのオースト
ラリア人が来町する倶知安町。

町の特徴を学習に生かし、い
ろいろな人とかかわってみる学
習です。



ヒラフの大自然

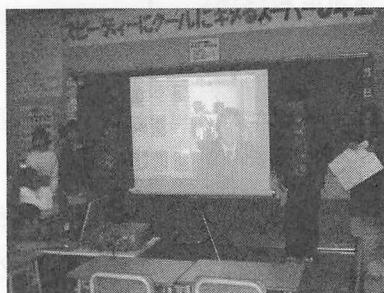
教材・活動の Point!

1. 人とかかわってコミュニケーション力を高める

外国の方がたくさんいるという、地域の特徴を生かして活動をしました。まだ日本語に慣れていない外国の方との交流や調査活動を通して人とかかわる場面を意図的に設定することで「コミュニケーション」の力を育てることができました。

2. 価値ある課題

一人ひとりの課題を設定する場面では、「北陽小6年生課題づくりの視点」を話し合うことで、追究の視点を焦点化していきました。子どもたちは問題解決にふさわしい課題は何かを意識して学習をすすめていきました。



3. 学びが連続していく工夫を

「なぜ?」「どうして?」を、教師が見取り、焦点化するなかで、子どもたちは次時に意欲をもちながら学習を進めていきました。テーマに沿って課題を追究し、学習を進めていくには、教師のかかわりが不可欠になります。

